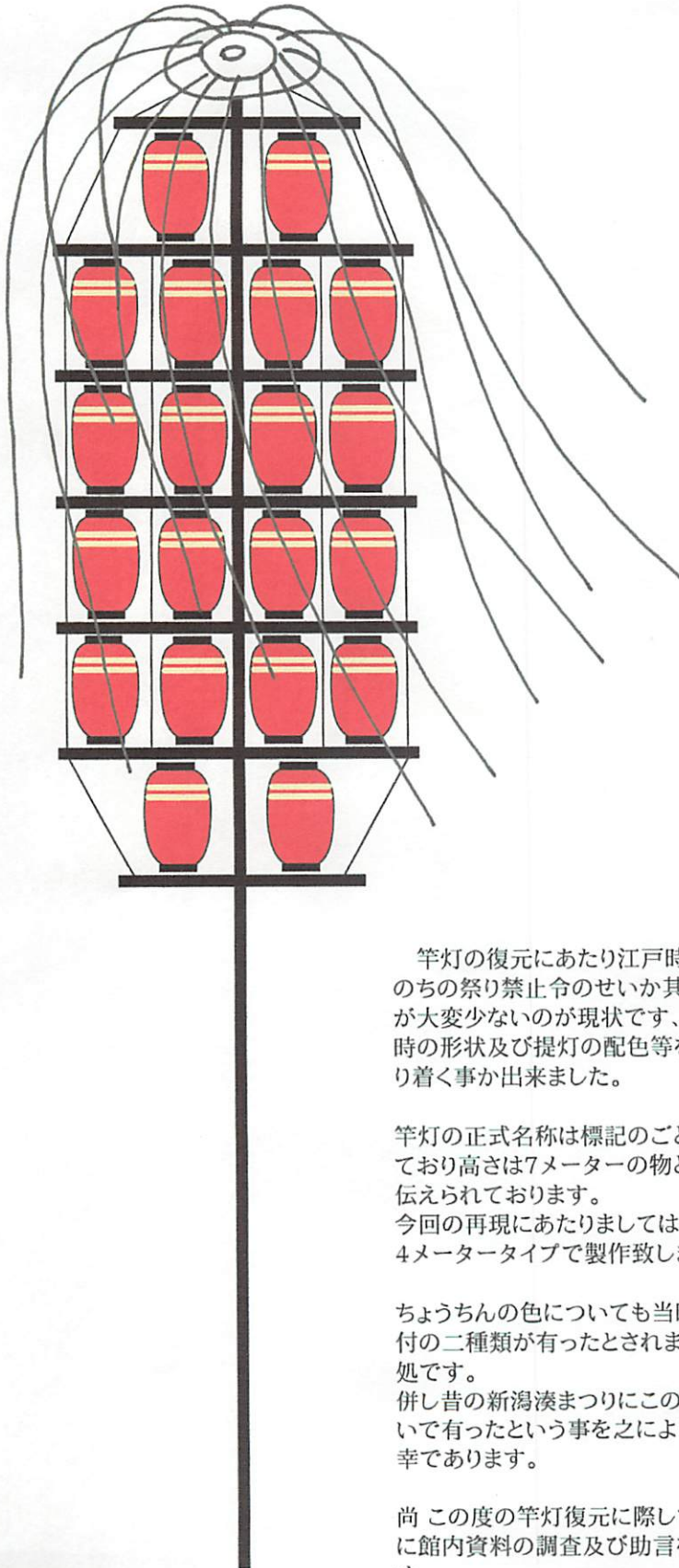


コチョウチン
きぬがさ小挑灯大竿灯の復元

平成23年6月

柳都 **わいやら** の会



竿灯の復元にあたり江戸時代の新潟湊まつりに関する歴史資料がのちの祭り禁止令のせいも其れとも紛失なのか定かでは有りませんが大変少ないのが現状です、その少ない資料を頼りに出来る限り当時の形状及び提灯の配色等を再現すべく心がけてこの度復元にたどり着く事が出来ました。

竿灯の正式名称は標記のごとく当時きぬがさ小挑灯大竿灯と呼ばれており高さは7メートルの物と4メートルの物との二種類が有ったと伝えられております。
今回の再現にあたりましては実演や展示スペースその他を考慮して4メートルタイプで製作致しました。

ちょうちんの色についても当時白提灯の物と赤色の細縞(子持筋)色付の二種類が有ったとされますが色見本となる資料が無く苦慮する処です。
併し昔の新潟湊まつりにこの様な大竿灯が有りその当時大変な賑わいで有ったという事を之により皆さんに知っていただく事が出来れば幸であります。

尚 この度の竿灯復元に際して新潟市歴史博物館 学芸員 森 行人様に館内資料の調査及び助言を頂きました事にここに感謝申し上げます。